

～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



一般社団法人日本知的財産協会



2016年3月 関東・関西部会資料

2016年度 JIPA研修計画について

(一社)日本知的財産協会

人材育成委員会



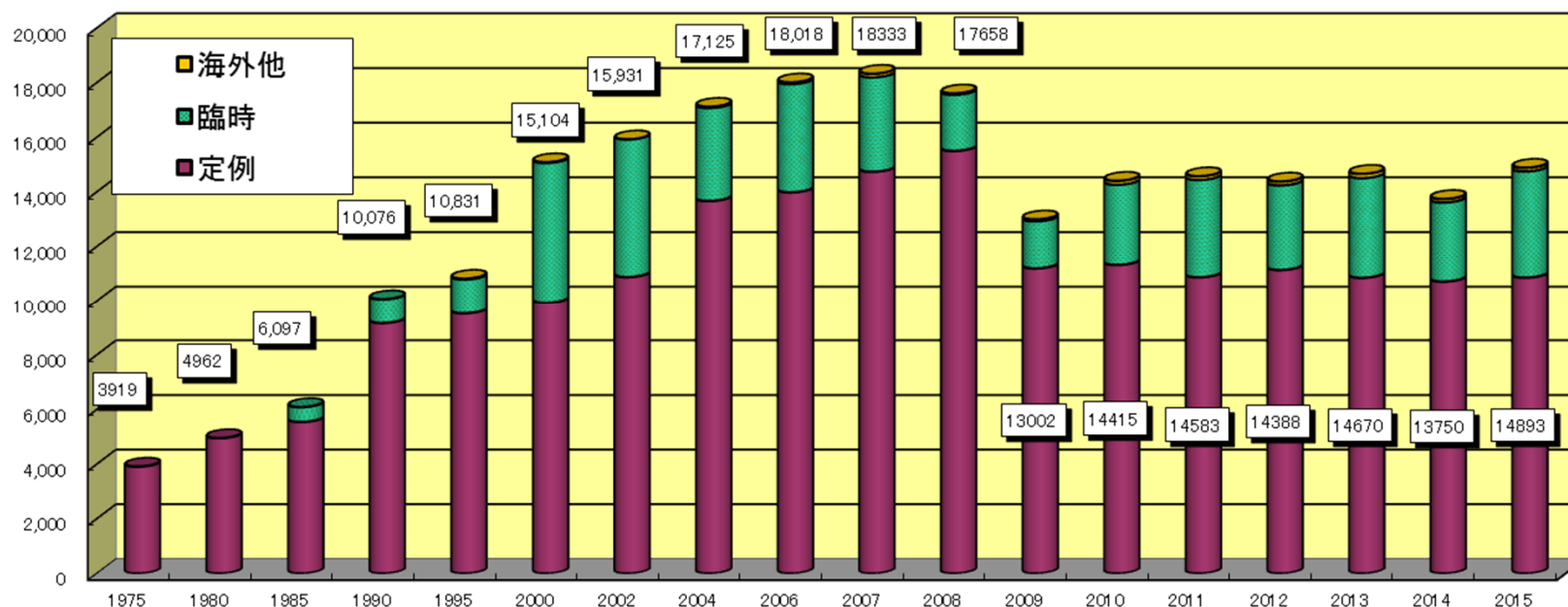
研修受講者数の推移

JIPAの研修会は

昭和26年に始まり、65年の歴史

現在の受講者数は

年間約1万5千名で、日本最大規模



【2015年度 受講者数】 14, 896名 (昨年度対比108%)

- 関東 9,792名 (定例コース:6,987名)
- 関西 4,454名 (定例コース:3,341名)
- 東海 650名 (定例コース:544名)



2016.3.14現在



2015年度 人材育成委員会の構成

人材育成委員会(委員長、委員長代理含む) 総数51名

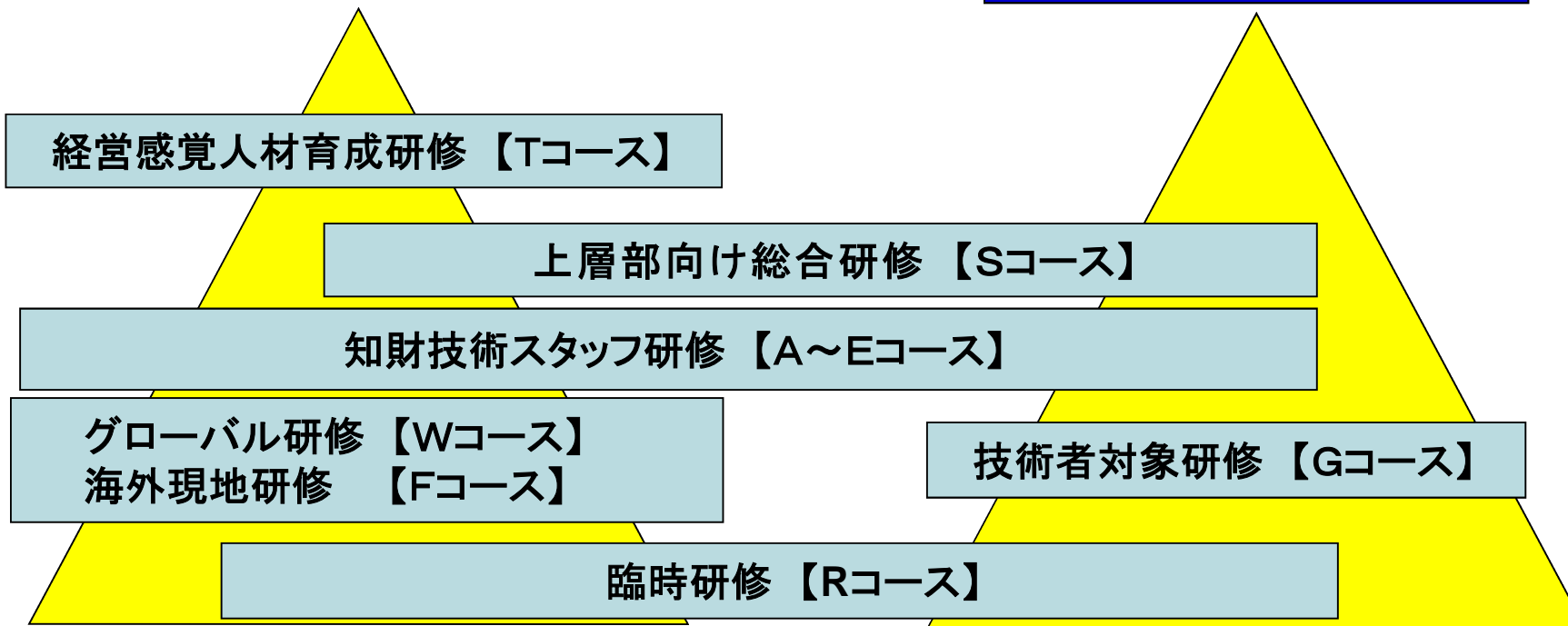
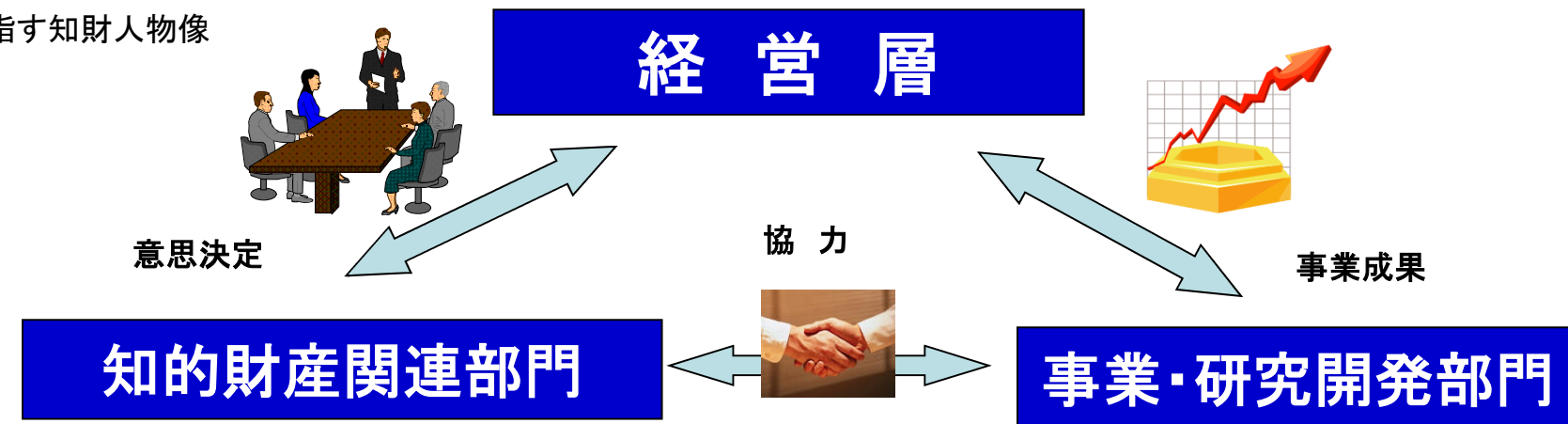
	担 当	担当者数
委員長・委員長代理	全般	4名
第1小委員会	関東地区研修担当	14名
第2小委員会	関西・東海地区研修担当	12名*
第3小委員会	新規研修会の企画、 特別コースの実施他	13名*
第4小委員会	海外コースの企画、実施	11名

* 委員長代理の兼務あり



研修計画のあらまし

目指す知財人物像





研修コース紹介(1)

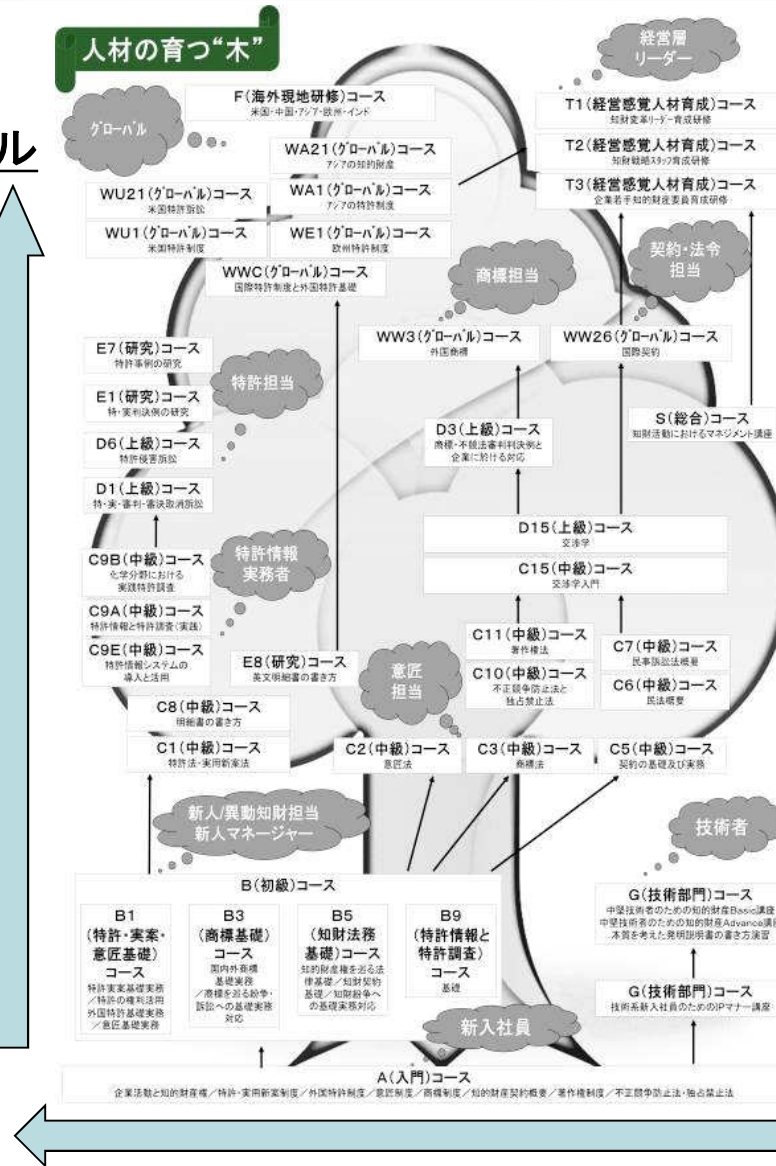
知識・スキルレベル

上級

中級

初級

入門



★定例コースは関東・関西・東海の3地域で約100コース開催（一部隔年開催のコースあり）

※定例研修を補完する研修として、会員企業のニーズに応えたタイムリーな研修を企画・随時開催（臨時研修）



専門分野(特実/意/商/等)

※日本知的財産協会「研修案内」より抜粋



研修コース紹介(2)

A～E 知財技術スタッフ研修コース

知識・スキルの向上を目指し、知財専門家を育成

A 入門コース	知財部門・技術部門を対象に、 法制度の理解、基礎知識 の習得を目指す(総合コース)
B 初級コース	知財部門・技術部門を対象に、 基礎的な実務ポイントと関連法律知識 を習得する 2015年度は改編コースを実施(専門分野毎)
C 中級コース	知財中堅実務者に必須の 応用知識と実務スキル を養成する
D 上級コース	複雑な実務に対応できる 知財専門家としての高度な実力 を養成する
E 研究コース	演習・討論等の 自主研修 により、知財専門家にふさわしい実力に磨きをかける



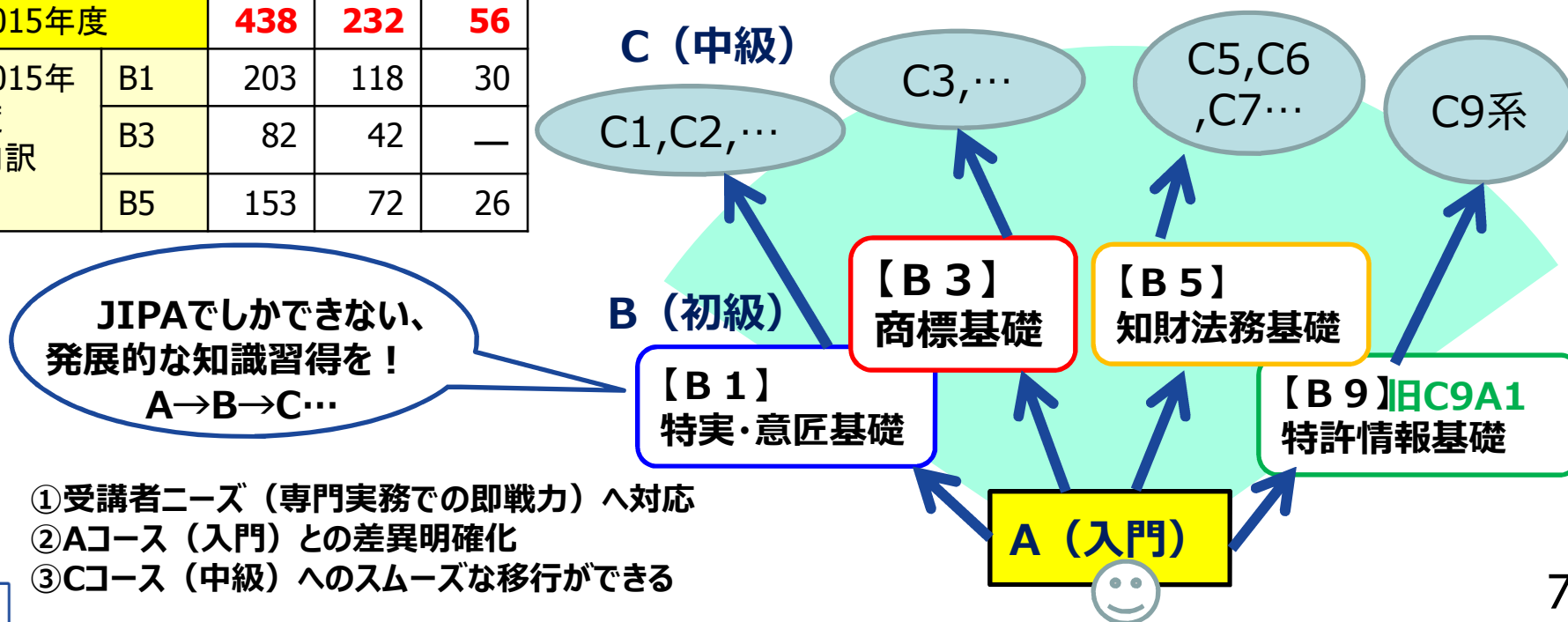
2015年度より: 定例Bコース(分割改編)

Bコース(初級) 受講生アンケート結果⇒ 大変好評!

- 受講者の8割が「実務に大変役立つor役立つ」とアンケートで回答。
- 2016年度も、関東・関西・東海地区で開催。奮ってご参加ください。

		関東	関西	東海
2014年度		278	119	34
2015年度		438	232	56
2015年度 内訳	B1	203	118	30
	B3	82	42	—
	B5	153	72	26

※受講者数(2.23現在)
昨年度比 168%



- ① 受講者ニーズ(専門実務での即戦力)へ対応
- ② Aコース(入門)との差異明確化
- ③ Cコース(中級)へのスムーズな移行ができる





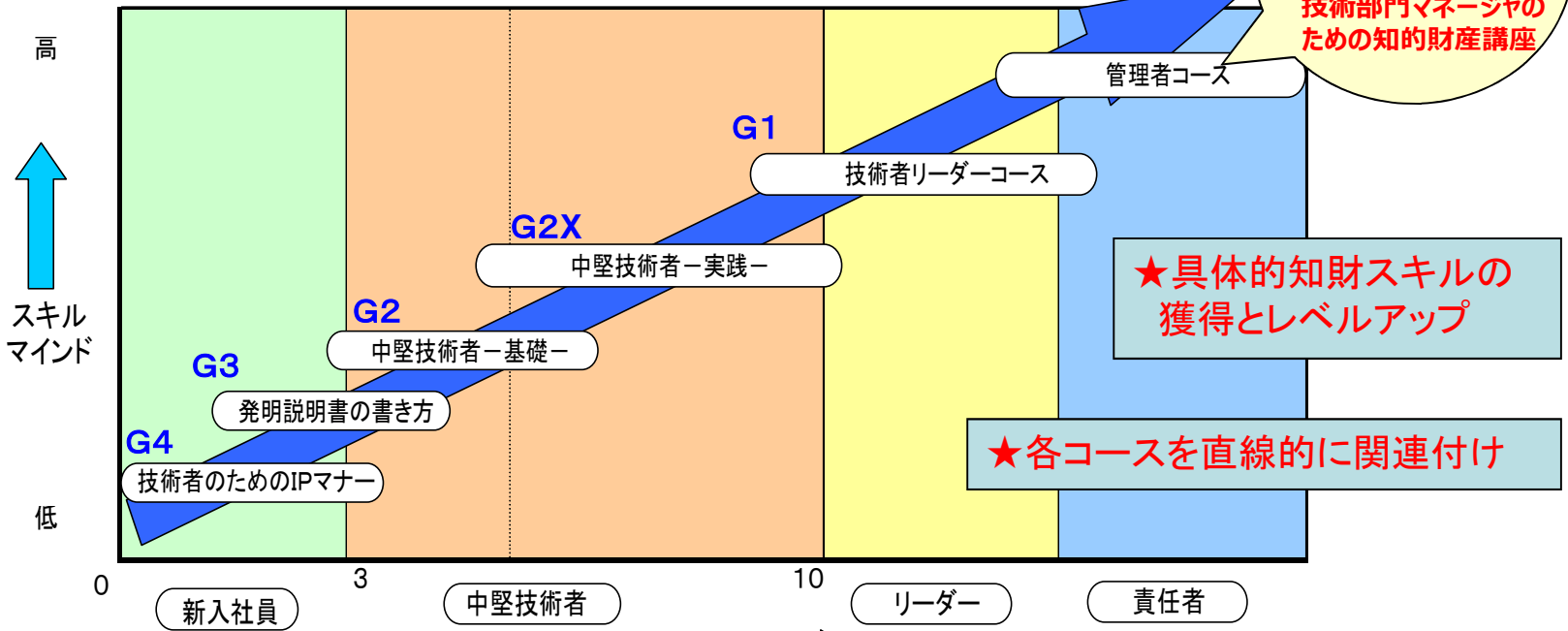
研修コース紹介(3)

G 技術部門向けコース群

技術部門の方が、経験年数に対応して知的財産知識を習得する

- JIPAならではの実務的な技術者教育
- 企業での階層(経験年数)に対応したコース設定

※検討中
※2015年度にR26として実施
技術部門マネージャのための知的財産講座



★具体的知財スキルの獲得とレベルアップ

★各コースを直線的に関連付け



経験年数の目安

日本知的財産協会研修案内より



G 技術者向け知財研修コース体系

技術者ニーズ／経験に応じた研修企画

1. **G4コース**: 新人技術者
 - ・知財に対する**基本知識 (IPマナー)**
2. **G3コース**: 初任者 (発明説明書作成経験1, 2件程度)
(電気・機械系、化学系、ソフトウェア系)
 - ・発明の本質の捉え方を**演習を通じて学ぶ**
3. **G2コース**: 中堅技術者 (電気・機械系、化学系)
 - ・知財情報の活用
 - ・**強い特許の創出、他社権利の尊重** ※G2Xコース 2014年度より定例化
4. **G2Xコース**: 中堅技術者 (技術職経験5～10年)
 - ・知財**リスクへの対応**、特許の**活用**
 - ・外国特許の取得
5. **G1コース**: 技術者リーダー (電気・機械系、化学系)
 - ・**リーダーとして**どのように行動すべきかを考えるきっかけ
 - ・**部下への指導**をどのようにすべきかを考えるきっかけ



研修コース紹介(4)

W グローバルコース

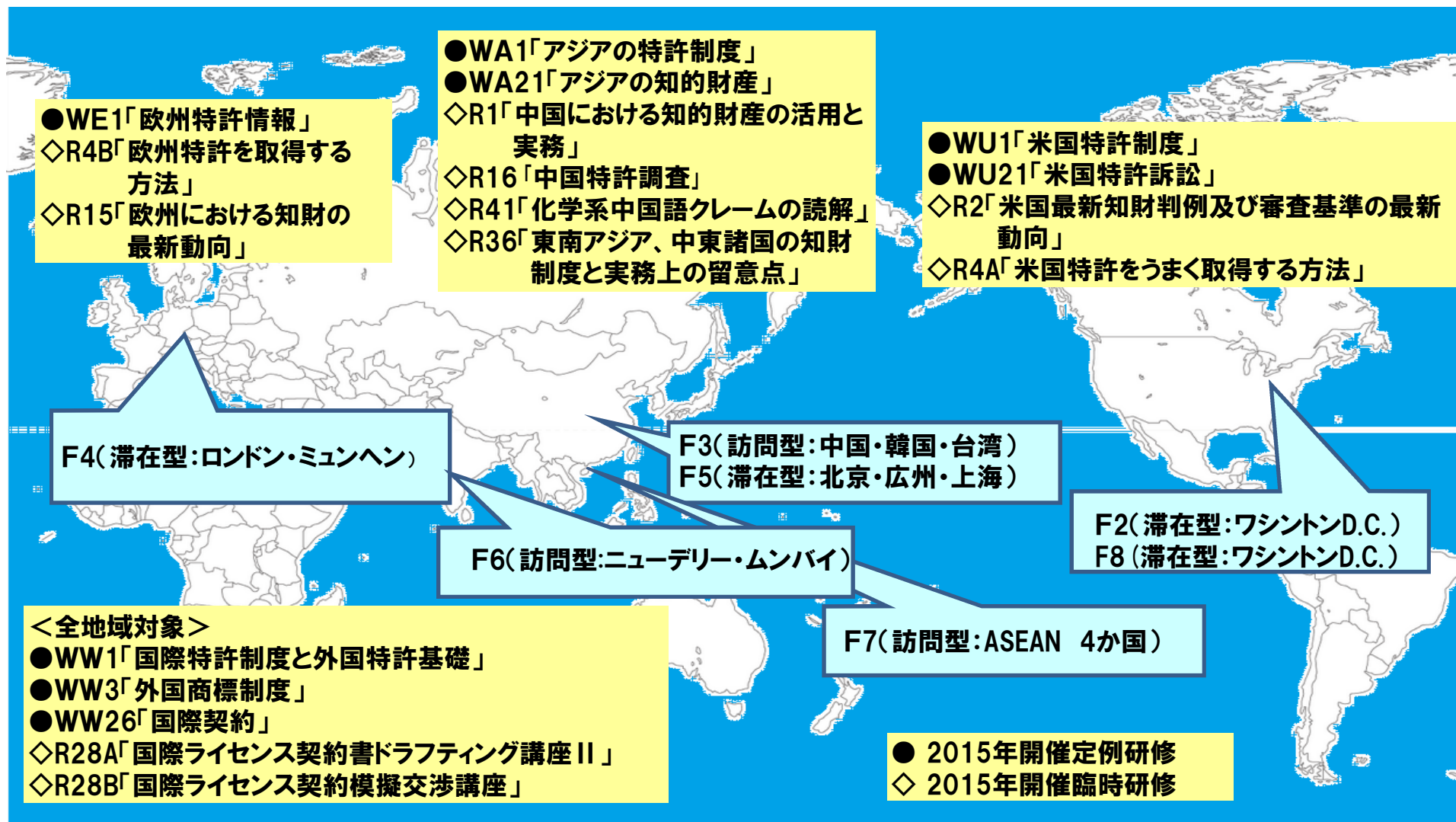
世界主要国の知財制度、関連法、および条約について**基礎知識**を学び、国際的視野に立って知財問題を考える素地をつくる

F 海外現地研修コース

現地体験を通して各国の知的財産制度を理解し、対応する能力を育成する



研修マップ(グローバル編)





グローバルコース群

		全世界	米国	欧州	アジア			東南 アジア	BRI (C) s	VISTA
					中国	韓国	台湾			
初級	A/B	入門・初級コース(外国特許制度)								
中級	C	国際特許制度と外国特許基礎								
	特・実		米国制度	欧州制度	アジアの特許制度					
	意匠	意匠法(外国意匠制度)								
	商標	外国商標法								
	不競法	外国不正競争防止法(臨時)								
上級	特許		米国訴訟		アジアの知的財産					
	契約	国際契約								
臨時	R		米国特許 判例・手続	欧州特許 取得方法	中国特許 取得方法					
海外	滞在型		米国	欧州	中国					
	訪問型				アジア			ASEAN	インド	



W グローバルコース関連情報

東海地区 W グローバル中級コース

★東海地区では、**国別（地域別）中級コース**を開催。実施予定は下表の通り。
 ※関東・関西地区では**Wコース群（中級・上級）**を開催

■東海地区Wコース関連 開催予定

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
米国特許制度 (WU1)	東海定例コース(WU1)			
欧州特許制度 (WE1)	東海R9(臨時)として実施	—	臨時コースとして開催予定	—
中国特許制度 (アジア) (WA1)	—	新規臨時 R10コース ※6月開催	—	臨時コースとして開催予定

☆2016年度はWA1コースに該当する研修を「**臨時研修 R10コース**」として開催予定です。(関東・関西同コースと同等カリキュラムです。)
 詳細なご案内は、2016年6月ごろにHP・郵送・メルマガ等で通知予定。





F 海外現地研修コース

現地体験研修の継続実施(2グループにて2~4年サイクル開催)
米国・中国・インド とアジア・欧州

	米国	欧州	中国	韓国	台湾	インド	ASEAN
訪問型			F3			F6	F7
滞在型	F2	F4	F5				
	F8						

F4、F7、F8:2016年度開催(2015年秋 募集済)

F2、F3、F6:2017年度開催(2016年11月募集予定)

※F4、F5、F8:2018年度開催(2017年秋募集予定)

※F7:2019年度開催(2018年秋募集予定)





F 海外現地研修コースの新設

Fコース 新設 ※次回募集開始は2017年度以降

海外現地研修コースでは、下記2コースを新設しました。
2015年度秋より募集を開始し、2016年度秋に現地で研修実施予定です。

F7 アセアンの知的財産事情の研修

アセアン諸国を訪れ、約2週間、現地の事情、文化、知的財産情報に直接触れること等を通じて、アセアン諸国に於ける知財情報の収集・整理及び企業における知財実務・マネジメントの一翼を担うことを目的に新設されました。研修は訪問型研修で、現地研修の前後に国内での事前研修及び事後研修を加えた3部構成となり、約10ヶ月の期間をかけて行われます。

《次回開催情報》

ASEAN4カ国程度 【研修期間】:2019年7月～2020年2月【現地研修】:2019年10月又は11月予定

F8 米国研修「IPRブートキャンプと米国流知財マネジメント入門」

最新の米国知的財産事情に関連するテーマとして、特に、特許付与後手続きのうち最も利用頻度が高く注目度の高いIPR (Inter Partes Review) と、IPR活用の際の留意点を含めた米国企業知財部門出身の弁護士によるマネジメント戦略とに焦点をあてた現地滞在型研修です。

《次回開催情報》

ワシントンDC周辺【研修期間】2018年7月～2019年2月【現地研修】2018年10月又は11月予定



研修コース紹介(5)

S 総合コース

知的財産部門や研究開発部門の管理職の方が、
企業経営に寄与する知的財産管理の概要などを習得する

※知財部門マネージャを対象としたコースに改編。2016年度から改編コースを実施。

T 特別コース(経営感覚人材育成研修)

「T1 知財変革リーダー」「T2 知財戦略スタッフ」及び
「T3 企業若手知財要員」を育成する



S1コース見直しのポイント 2016年度

カリキュラム改編 S1

関東・関西にて同一カリキュラム研修を開催！

★新コース名 「知財活動におけるマネジメント講座」

⇒「知財部門のマネージャ」に特化した内容に改編

⇒マネージャに必要な知識・意識・スキルの3要素を4日間で習得可能

従来S1コース

・従来対象者：知財部門や研究開発部門の管理職、役員及びそれらに準ずる方々

◎企業業にとって知財部門の役割がますます重要視される状況に。
その一翼を担うのは「知的財産部門のマネージャ」である。



改編S1コース 2016年度より

★受講対象者をより明確化したコースへ改編

※知財部門マネージャ、マネージャ候補者の他、
知識補充/意識改革/視野拡大を希望するマネージャ層を含む

知財マネージャに求められる下記の要素について、講師の実体験・実例に交えた講義を通じて習得

◎戦略思考

◎権利活用力

◎リスクマネジメント能力

◎税務知識

◎グローバル対応力



※次項にカリキュラム・講師一覧掲載
※1ヶ月1日ペースで、4ヶ月間で完結



改編S1コース(2016年度)カリキュラム

開催日	課目名	講師
1日目 午前	知財戦略概論 ※知財戦略に関する体系的な講義	日立製作所 戸田 裕二 氏
	午後	知財戦略の実践 ※知財戦略に関する事例紹介を中心とした講義
2日目 午前	ブランド戦略における知財の関わり ※ブランド戦略の必要性、知財の役割に関する講義	弁理士 外川 奈美 氏
	午後	攻めと守りの知財活動 ※権利活用等に携わる際に知っておくべき 知識に関する講義
3日目 午前	知財活動におけるリスクマネジメント ※企業活動にかかわる知財関連法務の概要と リスクマネジメントに関する講義	弁護士 中務 尚子 氏
	午後	知財活動における税務 ※知財に関する税務問題について、 効率的にその全体像を理解する講義
4日目 午前	グローバル知財活動における留意点 ※グローバル知財活動遂行上の留意点を、 関連する重要情報とともに講義	デンソー 碓氷裕彦 氏
	午後	知財マネージャに期待すること ※これからの知財マネージャに期待することを幅広く講義





T 特別コース

経営感覚を備えた知財スタッフの育成

T1

◎知財変革リーダー育成研修

対象者 : 知財変革リーダー

内容 : 約6ヶ月間 第1～第3ラウンド
「会社への提言書」

※2014年度から新しいカリキュラムで実施
2015年度にはケーススタディの導入！

T2

◎知財戦略スタッフ育成研修

対象者 : 知財戦略スタッフ

内容 : 約3ヶ月間 第1～第3ラウンド

T3

◎企業若手知的財産要員育成研修

対象者 : 知財技術スタッフ

内容 : 約6ヶ月間 専門委員会が指導

※2014年度より最終発表会を関東・関西合同で実施





研修コース紹介(6)

R 臨時コース

- 定例研修を補完する研修、会員企業のニーズに応えた **タイムリー**な研修を企画・開催（2015年度は45コース開催）
- 上記のほか、JIPA専門委員会・プロジェクトの研究成果や、海外調査団報告を、臨時研修として適宜開催

★ご参考：ピックアップ 2015年度 新規企画

【R23】「**知財と標準のビジネス活用**」（関東・関西）



～ビジネスには知財と標準の融合が不可欠！豊富な事例でわかりやすく解説します～

講師：一橋大学特任教授 江藤学 氏

【R26】「**技術部門マネージャのための知的財産講座**」（関東・関西）



＜グローバルな知財動向/プリウス開発の知財活動/研究開発の知財マネジメント＞

講師：前JETROバンコク知財部長 大熊氏、元トヨタ自動車(株) 佐々木氏、他



研修コース紹介(7)

★ご参考：ピックアップ 2015年度 専門委員会・PJ等 協力企画



R44「改正特許法35条（職務発明制度）とその実務対応」 **職務発明PJ**



R45「営業秘密防衛のための知財部門の役割」 **営業秘密PJ**



R37「CPC 最新情報の紹介と調査実務における留意点」

情報検索委員会、関東地区ではEPO職員がゲスト講師登壇



R39「新興国ビジネスにおける知財・法務」 **国際第2委員会**

～南アフリカ・ジンバブエ調査団報告、アフリカにおける知財・法務～

法改正のタイミングで、
タイムリーな開催

★ご参考：ブラッシュアップ（コンテンツをより洗練し、最新話題を取り込み）



【R7】「知財高裁重要判例解説と日本の知財裁判のあり方」（4回コース）

講師：前知財高裁所長 **飯村敏明弁護士**



【R24】「知的財産契約と税務」 **※2016年度はS1コース課目に**



この他にも、多彩な新規企画を検討します！！



JIPA研修会予約サービスについて

JIPA研修会予約サービス 新機能追加のお知らせ

《主な新機能のご紹介》



ポイント1

受講票が電子化されます

※申込を行った方宛に、二次元バーコード付き受講票をメール(PDF)で配信します。申込時に受講生のメールアドレスを登録された場合、直接受講生へも配信します。

ポイント2

受講生へのご案内メールを配信！

※研修申込時にメールアドレスを登録された受講生には連絡事項等が発生した場合に直接メールで情報を配信します。

★JIPA研修会予約サービスがさらに便利になります！

詳細はホームページをご覧ください。

【参照URL】

トップページ→トピックス「【研修会予約サービス】新機能追加のお知らせ及び3月の臨時研修について」

http://www.jipa.or.jp/topics/view.php?topics_id=c915880aae670e69f3957dea132f864b



研修募集開始までのスケジュール

3月10日（木） **新年度研修情報をweb掲載**
2016年度版「研修案内」をホームページに掲載しました。

3月中旬 **2016年度版「研修案内」冊子を会員代表へ送付**
「知財管理誌」3月号と同梱

2016年度定例研修

募集開始 2016年4月1日 **午前9時**

ご清聴有難うございました

日本知的財産協会
人材育成委員会

～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



一般社団法人日本知的財産協会

